

## ①個別データシート

整理番号:

JP111034

種類

エネルギー

英名

Coal

分類

石油製品・石炭製品

和名

一般炭のボイラーでの燃焼

### ・GHG排出量

9.22E-02 kg-CO2e/MJ

### ・情報源分類

その他調査データ

### ・技術記述子

一般炭の燃焼に伴う排出

### ・技術の内容と機能

一般炭の燃焼に伴う排出

### ・情報源

産業技術総合研究所による調査(2009)  
独立行政法人経済産業研究所,“総合エネルギー統計の解説/ 2007年度改訂版”,(2009)  
環境省・経済産業省,“温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer.2.4”,(2009)  
環境省,“平成13年度大気環境に係る固定発生源状況調査”,(2003)

### ・データ作成者コメント

一般炭の燃焼時に伴う排出係数を以下のように設定した  
・CO2: 温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルによる  
・NOx: 環境省固定発生源調査をもとに国内ボイラの平均的排煙脱硝率64.3%を用いて算出  
・SOx: 環境省固定発生源調査をもとに国内ボイラの平均的排煙脱硫率82.1%を用いて算出  
・ばいじん: 環境省固定発生源調査をもとに国内ボイラの平均的集塵率68.3%を用いて算出  
・N2O: 温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルのボイラ(流動床以外)燃焼を適用

### ・適用範囲

日本における、一般炭のボイラーでの燃焼の平均的値である。  
一般炭を流動床以外のボイラーで燃焼し熱エネルギーを得るプロセスである。  
一般炭の発熱量を25.7MJ/kgとしている。

### ・システム境界

資源採取から一般炭の製造を経て、ボイラーでの燃焼までを範囲とする。一般炭の輸送は範囲に含まない。

### ・配分

共製品はなく配分なし。

### ・GHG排出量の要因

主なGHG排出源は、一般炭の燃焼由来のCO2(化石資源由来)、である。

②入出力データ

区分	フロー区分	品目名	連鎖した品目名	公開整理番号	数値	単位	備考	
資源/原材料	中間フロー	入力	一般炭	一般炭	JP304002	3.89E-02	kg	一般炭の発熱量25.7MJ/kg
大気圏排出物	基本フロー	出力	ばいじん			2.02E-05	kg	
大気圏排出物	基本フロー	出力	CO2(化石起源)			9.06E-02	kg	
大気圏排出物	基本フロー	出力	N2O			5.80E-07	kg	
大気圏排出物	基本フロー	出力	SO2			6.92E-05	kg	
大気圏排出物	基本フロー	出力	NOx			6.63E-05	kg	
製品	中間フロー	出力	燃焼・一般炭	燃焼・一般炭	JP111034	1.00E+00	MJ	